

平成31年度 国語科授業の略案 (3学年)

月日 (校時)	単元名	教材名
5月15日(水) 2校時	まとまりをとらえて読み、かんそうを話そう	言葉で遊ぼう/こまを楽しむ
本時のねらい(4/9時間目) ○「問い」と「答え」に着目して、「はじめ」「中」「終わり」のまとまりを捉えることができる。		
評価規準 読「問い」と「答え」から、文章全体の構成と、段落相互の関係を捉えて読んでいる。 (発言・ノート)		
学習過程	学習活動 (○発問・予想される児童の反応)	留意事項・評価
<b>【導入】</b> 9:20	○全文を通読し、内容の大体をつかむ。 前時の「言葉で遊ぼう」では、「まとまり」に気をつけて読みました。「こまを楽しむ」はどんなまとまりになっているのでしょうか。	○個々にぶつぶつタイム
<b>【展開】</b> 課題把握 9:25	1 課題を把握する。 ○「言葉で遊ぼう」でまとまりを捉えて読んだことを思い出し、段落わけをする。 文章全体を「はじめ」「中」「おわり」に分け、気が付いたことを伝え合おう。	キーワード 段落(はじめを一字下げて表す。)、はじめ、中、おわり、問い、答え、このように、～でしょう
・シラバス ・言語わざ ・見通し  自力解決 9:29 班学習 9:35  集団解決 ・全体 9:42	見通し(4分)・自力(6分)、班(7分)・全体(10分)・考さつまとめ(8分)・振り返り(5分) 「○○だと思います。わけは○○と書いてあるからです。」 ・「はじめ」にあたる段落には、「～でしょうか」などの「問い」がある。 ・「おわり」にあたる段落には「このように」などのまとめの言葉がある。 2 問いの言葉やまとめになる言葉に線を引き、段落わけをする。 3 班でまとめた意見を出し合う。 ○考えを出し合い班でまとめましょう。 ・大事な言葉や文に気をつけて理由を考えよう。 ○文章全体を「はじめ」「中」「おわり」のまとまりに分けよう。	○グーパーチェックを行い、考えを書きづらい児童には、書いている児童のノートを見に行くよう促す。 読「問い」と「答え」から、文章全体の構成と、段落相互の関係を捉えて読んでいる。 ○「言葉で遊ぼう」の学習を想起させる。
・考察 9:52	・一段落には、「どんなこまがあるのでしょうか。」や「どんな楽しみ方ができるのでしょうか。」など問いかけの言葉がある。 ・「このように」などまとめの言葉があるのは八段落である。 ・二段落から七段落まではいろんなこまの紹介が書いてある。	
まとめ 9:56	4 本時のまとめをする。 ・「～でしょう。」の問いかけの言葉がある一段落は「はじめ」になる。 ・答えが書いてあるので二段落から七段落までが「中」になる。 ・「このように」でまとめと分かるので、八段落が「おわり」になる。	
<b>【終末】</b> ふりかえり 10:00	5 本時の振り返りをする。 次時では「問い」に対する「答え」を段落ごとに読み取っていくことを予告する。	○振り返りの視点 「まとまりを表すキーワードが使えているか」

はじめ	「問い」	①
中	「問い」にたいする「答え」	②～⑦
おわり	ぜんたいのまとめ	⑧